

令和6年度 1学期終業式 校長講話

おはようございます。

これから約40日間の夏季休業に入ります。皆さんにとって1学期を自己評価すると、どのような期間だったでしょうか。

皆さんに4月にお話したことを覚えてくれているでしょうか。

1年生の皆さんには入学式で、入学後一定の期間が過ぎたら、高校生活で「できるようになったこと」や、「今後の自分に必要な力」について、時間をとって振り返って欲しいという話をしました。

2、3年生には大谷選手のマンダラチャートを取り上げて、これからの大きな目標と、その達成のため、具体的に必要な目標を立ててみようという話をしました。

夏休みを控えて、皆さんに改めて、お願いしたいことは、これまでの振り返りをして、今後の自分の目標を考えて欲しいということです。

「振り返っても別に大したことはないのでは」と決めつけず、やってみてください。生活や人との接し方、学習や進路のために必要な力などについて振り返ってみましょう。

具体的な振り返りをしている時の自分の頭の中では、色々な経験や知識が整理されて、つながっていくそうです。そこから色々な気づきを得られて、皆さんの成長につながります。さらに、ある心理学の先生によると、これらは頭の中でただ「思っている」だけでなく、文字に書くか、言葉で誰かに話す方が効果的だそうです。

振り返りができれば、目標に向けて、夏休みに早速、行動に移してください。

今の時代、AIなどのお陰で、社会はどんどん便利になっています。自分であまり考えず、流れに乗って行動していればある程度快適に生活できるようにも思います。

しかし、今後の社会は予測不能と言われていています。このような社会にあって、北高の生徒の皆さんには、自分で考え・気づいて、行動できる社会人として活躍できる人になって欲しいと考えています。

自ら考えて行動する習慣がついていれば、もし失敗をしても、そこから立ち直るレジリエンスという力にもつながると思います。

皆さんが夏休みを健康で前向きに過ごしてくれること、そして、9月の始業式には元気な姿を見せてくれることを願っています。

これで終業式の講話を終わります。

